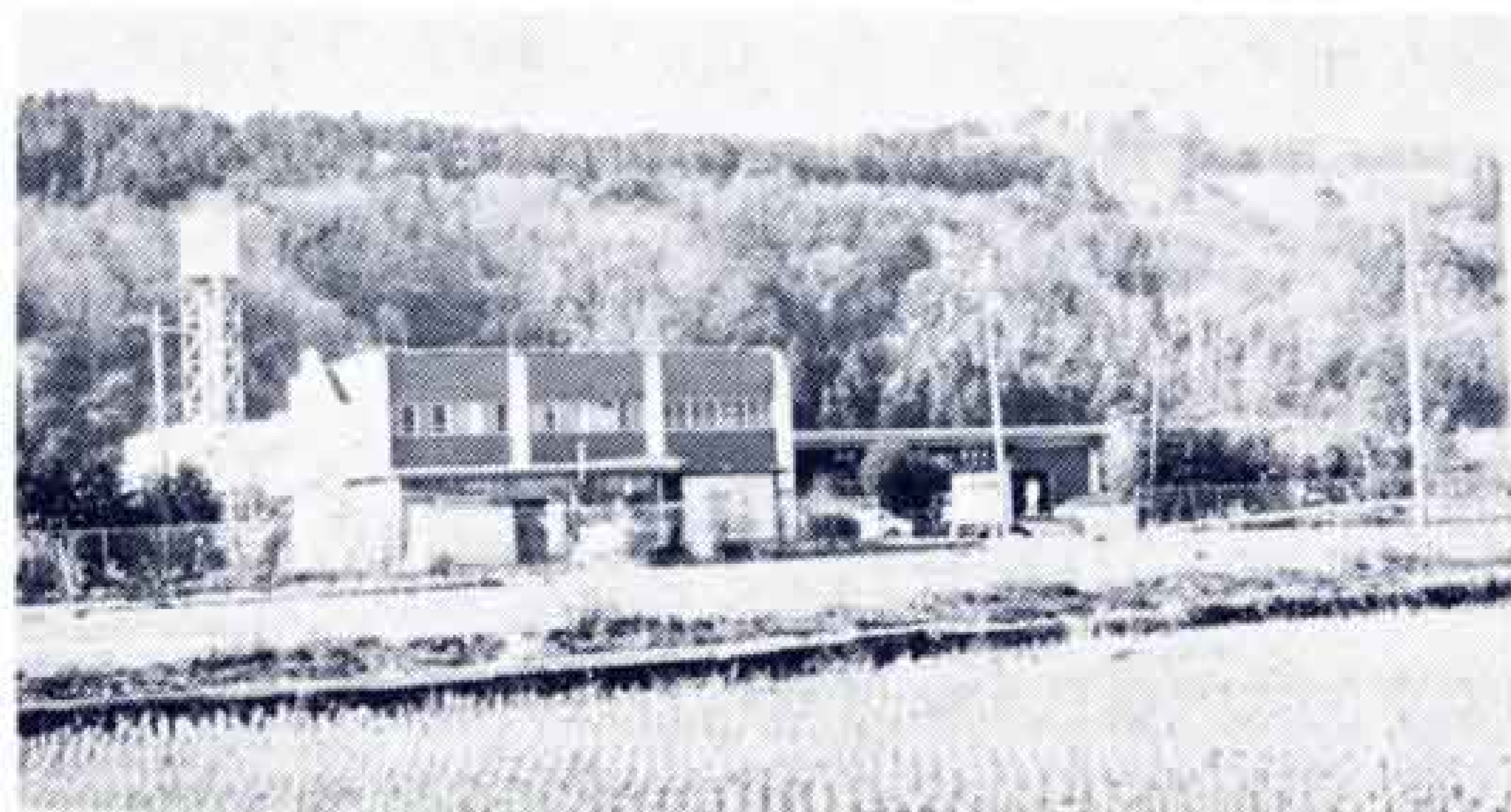
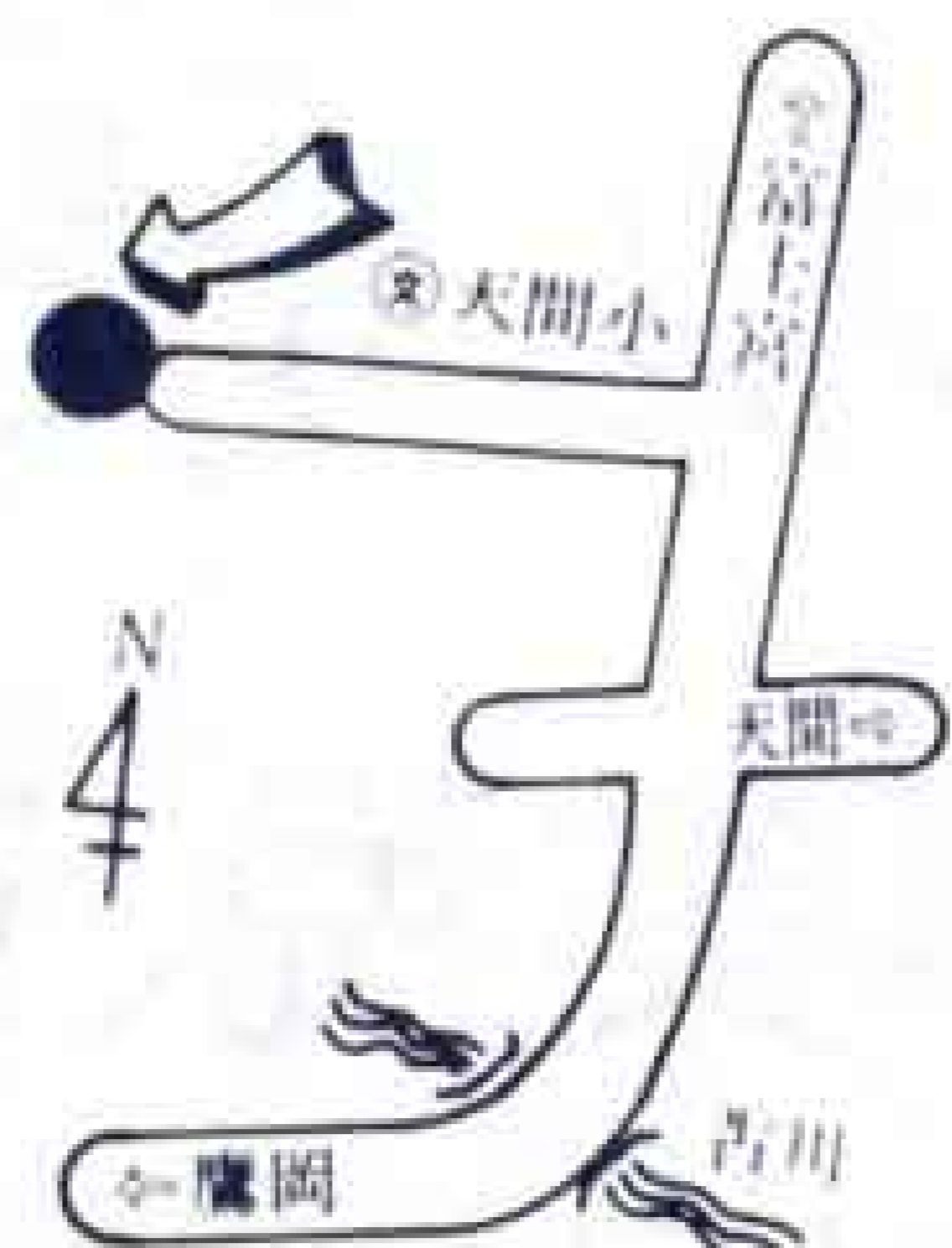


じせつめぐり

岳南食肉センター

天間74 ☎71-3595



▲と殺の前にシャワーを浴びて

2市1町の組合運営で

岳南地区の食肉をまかなうために昭和40年から2億1000万円をかけて建設、42年5月に操業開始しました。

運営は富士市、富士宮市、芝川町で組合を組織して行っています。

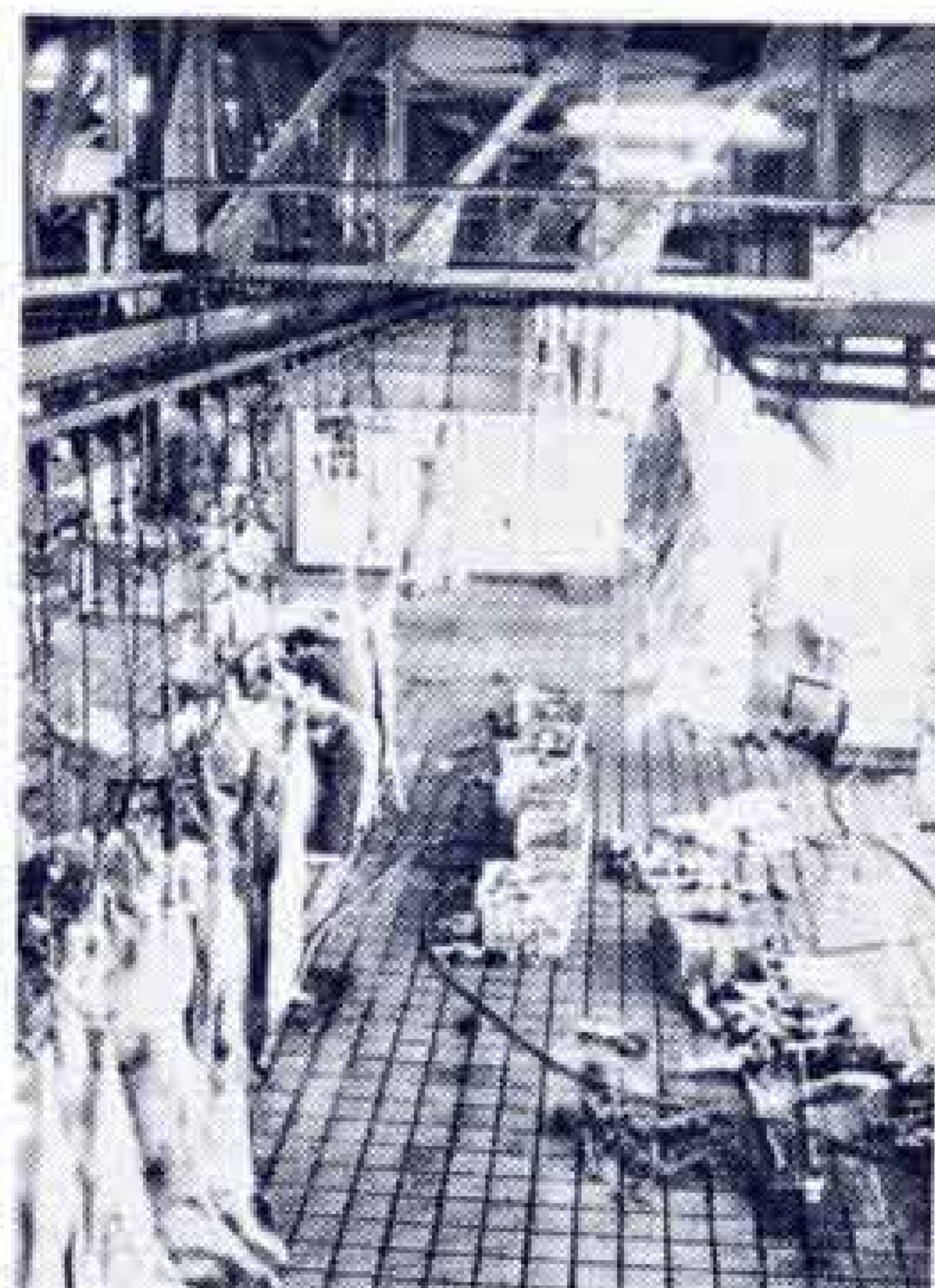
敷地面積は14,094平方㍍(4,263坪)建物面積は本館や事務棟、付属棟など合わせて2,581平方㍍(780坪)。

と殺処理能力は牛や馬などの大動物が1日に30頭、豚や山羊などの小動物が1日300頭処理でき、県下有数の規模を誇っています。

昨年は大動物を3,922頭、小動物を6万6,435頭、と殺処理しました。

と殺は電気による電殺や特殊な銃を用いる方法で行われます。

▶処理場内部



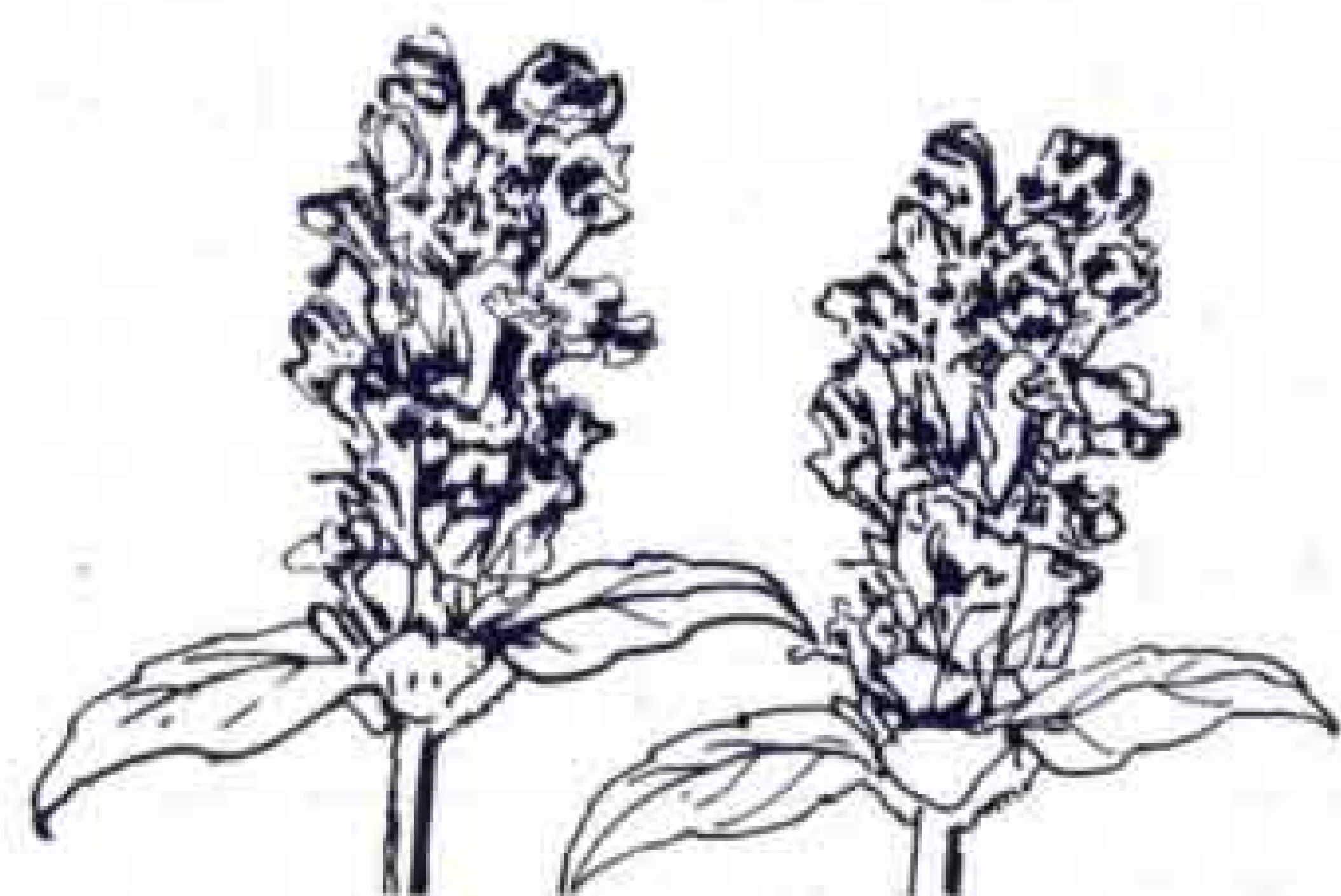
ここで働くのは総勢33人。それに県の食肉衛生検査員が4人駐在しています。

この施設を利用している食肉店はおよそ60店。扱う量は景気の動向を反映しており、現在は回復しつつあるとか……。

昔に比べ牛が増えていますが、その9割までが乳牛のようです。

薬草のおはなし①

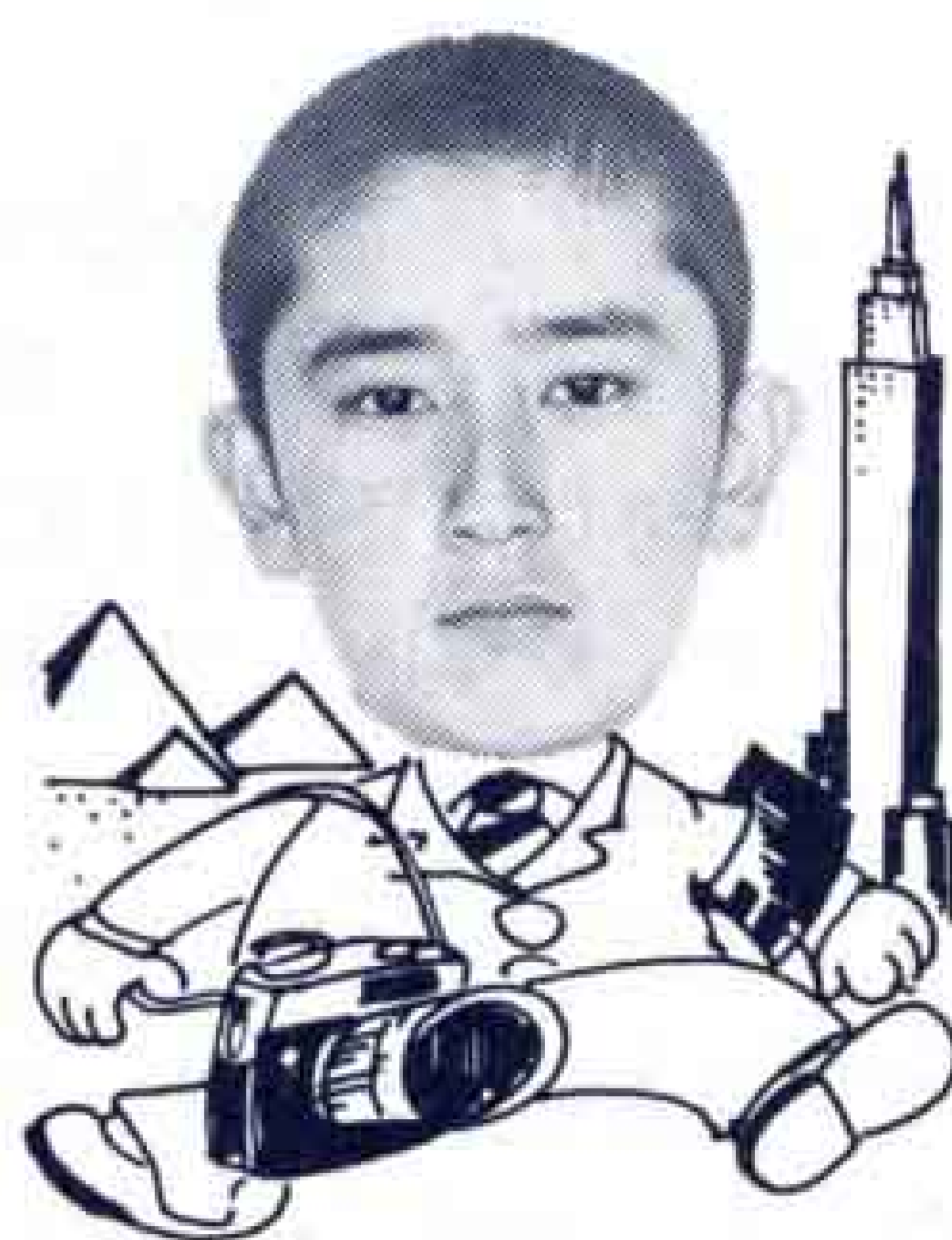
薬草名 ウツボグサ
生薬名 夏枯草
薬効 腎臓炎、膀胱炎



どこにでも見られる多年草、草たけ約30cm、初夏に紫色の唇形花を穂状につける。花の形が矢を入れる「うつぼ」に似ているところからその名がつけられた。夏に急に褐色に変わり枯れて見えるので「夏枯草」ともいう。花穂が褐色になったころ採取、日干し乾燥したものを生薬として用い、特に利尿薬として腎臓炎、膀胱炎など、日量10㍉せんじて服用するとよい。

ぼくの夢 わたしの夢

「後藤特派員」登場!



丘小六年 後藤秀久君

ぼくの夢は、海外特派員になることです。いろいろな国に行って、その国のようすや政治の動きなどを、みんなに伝えたいからです。ぼくの伝えたニュースで、世界中の人がびっくりしたり、歴史が変わるかもしれません。そして、たくさんの国の人と知りあい、仲よくなりたいからです。ぼくの活やくによって世界、の国が、みんな仲よくなればいいな。

ペット屋さんになりたいな



丘小六年 勝亦英美さん

わたしは、動物が大好きなので、将来ペット屋さんになりたいと思います。よく、道ばたに捨てられた犬やねこなどを見ると、とってもかわいそうになります。そんな時、あの動物は、今何を考えているのかなと思います。かわいそうな動物を拾って、いっしょにくらしてみたいです。そうすれば、野良犬の公害もなくなり、住み良い町になると思います。